

# 共に学ぶ



## 学校へ行こう

校長 小嶋 利之  
全校児童数：230人  
男子：123人 女子：107人  
問合せ ☎62-6811

南部中

### 『俳句作りで心を育てる』

南中坂を登っていくと、車や電車の騒音が徐々に遠ざかり、豊かな緑に包まれた本校の校舎が見えてきます。校内では、サクラやキンモクセイなどの四季を感じさせる植物や、小鳥や虫などの生き物を目にするこ



とができます。自然豊かな本校では、生徒たちの感性を磨くために、「心を育む俳句作り」の活動を、全校生徒で取り組んでいます。校舎内に一歩足を踏み入れると、廊下や階段の踊り場など、いたるところに生徒たちが詠んだ俳句が掲示されています。

### 国語の授業で

入学したばかりの一年生も、早々の国語の授業で五七五や季語など俳

句の基礎を学びます。そして、毎月その季節に合った俳句を作って廊下に掲示します。友達と句を詠み合い、感想を述べたりアドバイスをしたりして推敲を重ね、自分にとってより良い俳句にしようという励んでいます。数か月に一度行われる句会を楽しみに、はりきって俳句作りには挑んでいます。自分らしさを表現できる俳句は、生徒の身近なものになっています。

### 心を育む俳句講座

毎年七月に行われる「心を育む俳句講座」では、本校の元校長である吉口三男先生に講師をお願いしています。吉口先生の講座は、俳句のルールや季語などについて学ぶだけでなく、自分や友達の俳句についてより鋭い視点で見ることができるようになります。



### 南中俳句甲子園

十月に行われる南中祭では、「南中俳句甲子園」が行われます。この取り組みは、昨年度から生徒会が始めたもので、各学級の代表者が俳句を詠んで競い合います。この時ばかりは先輩と後輩が関係なく、良い句を作るために知恵を絞ります。

### コンクールへの投句

がんばって作った俳句を、校外に向けて発信するのも、俳句作りの楽しみの一つです。今年度は全校で87名の生徒が賞をいただくことができました。



今年度「NHK全国俳句大会ジュニアの部」でジュニア大賞に選ばれた二年生の神取歩君の詠んだ句を紹介します。

昼寝してもう夕方になっている

〈神取君の気持ち〉

休日の午前中に部活が終わって家に帰り、午後からちよつとだけ寝ようとうとうとしたり、いつの間にか夕方になってびっくりした。

俳句作りで大切なことは、難しい季語や文法を覚えることだけでなく、日常生活の美しさやおもしろさに気づくことができる柔らかな感性ではないでしょうか。変化の激しい時代だからこそ、俳句作りを通して感性豊かな大人になつてほしいと願っています。

みなさんも南部中学校へお越しの際は、豊かな自然の中で一句詠んでみてはいかがでしょうか。

## 画伯登場

荻谷小学校



3年  
みやざき けいこ  
宮崎 慶子 さん

先生から 版画の紙から飛び出てきそうなほほえみがすばらしいですね。目の中心の点や服のしわまでも、ていねいに彫られていて感心します。



「ほほえむわたし」  
【版画】



3年  
おおいずみ りょう  
大泉 諒 くん

先生から ほったや目の感じに怒っている雰囲気がよく表れています。また、ほったの膨らみを出すために、彫る方向に気をつけて彫ってあるところもすてきです。



「ぶんぶんマン」  
【版画】

私は、幸田町立図書館で職場体験をさせていただきました。図書館の仕事といえば、カウンターの仕事しか思い浮かびませんでした。が、体験してみると、本の貸し出しや検品作業など、たくさんの仕事があることが分かりました。

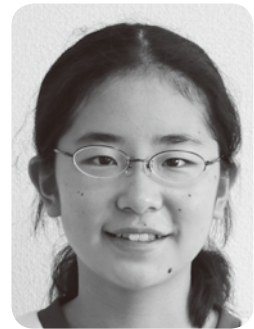
その中でも、私が最も大変だと思ったのは、排架という返却された本を棚に戻す仕事です。職場の方々には、利用される方が本を探しやすいように、一つ一つラベル通りに並べていらしたので、こんなに細かいところまで心配りをしていただくと驚きました。私も、利用される方がスムーズに本を探せるようにと、間違えないように集中して取り組みました。開館準備のときに



は、お客様に気持ちよく利用していただくための空間づくりを目指して、本棚の上など、見えないところまで丁寧に掃除をしました。このように、利用される方のことを考えて、求められたこと以上の心配りをしていくことが、働くためには必要なのだと感じました。

『おもてなしの心をもって』

職場体験実施日：平成27年5月18日・19日・20日



北部中 2年  
ひらいわ ゆきの  
平岩 千乃 さん

町民会館・図書館・町民プール  
ハッピネス情報  
http://www.happiness.kota.aichi.jp/

雑誌無料配布のお知らせ

とき ・ 3月12日(土) 午前9時～正午  
週刊誌 (平成27年7月～平成27年12月)  
隔週刊誌 (平成26年10月～平成27年3月) ・ 雑誌の付録  
・ 3月13日(日) 午前9時～午後3時  
月刊誌 (平成26年10月～平成27年3月)  
隔月刊誌 (平成25年10月～平成26年3月)  
ところ 幸田町立図書館 1階ギャラリー  
その他 ・ 持ち帰り冊数は、お一人様雑誌5冊、付録2点までです。  
・ 状態の悪いもの、出品しないものもあります。  
問合せ 幸田町立図書館 ☎63-0001

この本読みました  
『ムーミン谷の彗星』

トーベ・ヤンソン//作・絵  
下村 隆一//訳  
講談社



豊坂小 3年  
やまもと なぎさ  
山本 渚颯 くん

ムーミン一家は、ぼうけんが大好きで、楽しい一家です。この本では、スニフからすい星が地球にしようとするのを聞いたムーミン一家がぼうけんに出ます。ムーミンの勇気に一家が助けられたところに感動しました。

3・4月の休館日  
町民会館(☎63-1111) 3/22(火)、3/28(月)、4/4(月)、4/11(月)  
図書館(☎63-0001) 3/22(火)、3/28(月)、3/31(木)、4/4(月)、4/11(月)  
町民プール(☎56-8111) 3/22(火)、3/28(月)、4/4(月)、4/11(月)